

実はこんな問題が...

海洋プラスチックごみの量が
2050年に海にいる魚を上回る!?

現在、世界の海に漂うごみの量は約1億5,000万トンに達しているといわれており、日本を含むアジアからの流出が約80%を占めています。2050年には**海洋プラスチックごみ**の量が海にいる魚の量よりも多くなるという予測も。こうした世界中の海洋ごみが黒潮にのって、鹿児島県の「**与論島**」にたくさん漂着するんだとか...



解決に向けての取り組み



よろんじま

与論島でのボランティアで知った
海の現状とそこに住む人々の活動

⇒実際に与論島へ3泊4日のボランティア活動へGO!

●市民団体「海謝美（うんじゃみ）」との海洋ごみ拾い活動

外国から漂着してきた大量のごみを目の当たりに...
「海謝美」さんは自分たちが捨てたゴミではないのに、毎日欠かさずにゴミ拾いしてるんだとか!

●「与論高等学校」の生徒さんと暮らしに関する意見交換会

地元の高校生に島での暮らしについてたずねると、自分のことのように島への愛や、島の現状や課題について語ってくれました。逆に、高校生に私たちの住む愛知県のことを聞かれてもあまり答えられなかった苦い経験から、自分が住む地域が抱える問題ってなんだ?と考えるきっかけに。

こんな未来を目指します!

まずは自分の住む場所を知ること。
そこから生まれる地域貢献の想い。

与論島でのボランティア活動を通じて感じたのは、島の人々は当たり前のように、むしろ楽しんで「**地域貢献**」をしているということ。それは、この島を守るためにやるべき事とは何かを住んでいる人々みんなが理解しているから。島の高校生たちは、小さい頃から与論島に関する文化や歴史を学び、島に対する愛に溢れていました。まずは自分の住む場所について知ることから、地域への想いややりたいこと、できることが見えてくるはず!



投資先からのメッセージ

ボランティア活動って、
「やったほうがいい」のかな?

ボランティアと聞くと、「やるべき」とか「やったほうがいい」と感じる人もいられるかもしれません。でもそれは誤解で、無理に社会に貢献しなければ!と考えるなくていいのです。社会課題の解決には、そこに携わるすべての人の幸せや、やりがいがあれば続きません。やりたいときにやればいいし、途中で止めてもいい。また、一旦振り返ってやり直すことで、新しい発見やワクワクがあるかもしれないから。人を巻き込み、楽しみながら、共に世界を変えていきましょう!

知っておきたいキーワード



海洋プラスチックごみ

与論島

地域貢献

ボランティア